

令和2年度河合愛 AI 構想に対するパブリックコメント

1. 募集期間

令和2年10月17日(土)から令和2年10月31日(土)まで

2. 募集方法

広報広聴課及び政策調整課窓口、役場ホームページ

3. 資料公開場所

役場ホームページ、広報広聴課及び政策調整課、役場出張所、中央公民館、
豆山の郷

4. 回答人数

・パブリックコメント回答者:20名(別紙1参照)

・パブリックコメント以外の者:2名(別紙2参照)

※別紙2は、提案等のため意見の概要に反映していません。

【1.河合愛 AI 構想を・・・】

質問項目	回答人数
聞いたことがある。見たことがある。知っている	13名
知らない	3名
未記入	4名

【2.構想全体についてのご意見】

番号	意見の概要	町の考え方
1	<p>昨年11月開催のタウンミーティング(TM)の際の町民の意見と、また「町長へのメッセージ」で、町民の意見はご承知の筈なので、今までに、「河合愛 AI 構想」事業計画の策定は多少とも可能であったと存じます。従って、この度いただいた「資料」には、いくつかの具体的な事業計画が示せた筈です。なるほど事業計画の策定は令和2年度中に完了するとのことでしたが、せっかくのこの機会に、今度の資料も昨年とほぼ同じ内容で、中身がより詳しくなっているだけです。スタート以前に、ランナーが走らずに、走り方の想を練っているだけなのは、なぜですか。コロナに対する完全武装で頻りに町長が自身で町に降りてきて、民意を聞くこともできたと思います。</p>	<p>今回のタウンミーティングでは、河合愛 AI 構想の全体構成や体系、またそれらに基づいて町が重点的に取り組むべき施策を具体的にご説明しました。4月から、町民の皆さまのご意見等をお聴きする場を持つ予定はしていましたが、当時は新型コロナウイルス対策について様々な見地から情報があり錯綜していたことも事実ですので、そういった場合は控えさせていただきました。今後は、これまでにいただきましたご意見等も踏まえ、基本計画、実施計画を作成していきます。</p>
2	<p>町全体の進む道の一つとしてあるべき姿ではあると思います。しかし、この時期になってまだこの程度の報告ですか?と言いたいです。一つ一つに進行状況をもっと具体的に報告しても不思議ではない程就任以来の時間がたっていると思います。それが一番の不満不信です。</p>	<p>令和元年11月のタウンミーティングにて河合愛 AI 構想の大枠をご説明させていただきました。その後、皆さまのご意見等をお聴きし本構想の肉付けをしていく予定でしたが、コロナ禍における対策で思うような進め方ができなかったことについては大変申し訳ありません。</p>
3	<p>構想は、財政健全化の施策。まずは財政立直しを、そして、構想の是非の検討。</p>	<p>財政健全化は、まず町の魅力アップ、特に子育て世代が住みたいとおもってもらえる町にならなくてはなりません。そのために、三つの重点施策を実行していきます。</p>
4	<p>基本的に良いと思う。大学や研究者との連携が望ましい。</p>	<p>現在、帝塚山大学と地域活性化について連携しています。今後も町の魅力アップにつながる連携は進めていきます。</p>
5	<p>抽象的な謳い文句だけでなく、実行性のあるものを期待する。</p>	<p>これまでの御意見を踏まえ、実効性のあるものから取り組んでいきたいと考えます。</p>
6	<p>前町長時代と比較すると、格段の前進がある様に見受けられる。但し、エビデンスの裏付けが弱い様にも見受けられるので、半信半疑にならざるを得ない。</p>	<p>エビデンスに基づく政策立案は町民の皆さまへの信頼確保に重要と考えていますので、国や県、また、町独自の統計を分析し反映させていきます。</p>

7	子育て、高齢者が活動しやすい様に町民の足を確保していただきたい。すな丸号をもっとこまめに動かしてほしいと思います。すな丸号の台数を増やして足としていただきたい。こども園への通園、小学校への通学にもすな丸号を活用出来るようにしてほしい。	すな丸号へのアンケート結果も踏まえて検討します。
8	SDGs に基づいた目標が組み込まれており ①質の高い教育をみんなに ②安全な水とトイレを世界中に ③産業と技術革新の基盤をつくろう	基本計画（基本的方向性）において、SDGs の 17 ゴールを振り分け、その趣旨を意識し取り組んでいきます。
9	具体的な構想が記載されていないので、分かりにくい。	現在、河合愛 AI 構想の肉付け（基本計画、実施計画）作業をしています。再度、御意見をいただく予定です。
10	構想実現は、役場組織の役割分担と業務の引継が大切なファクターとなる。それと定期的に目標への進捗を行うことが重要と考える。	PDCA サイクルを確実に回し、常に進化した構想にしていきます。
11	「人に優しい 人情あふれる町 温かい町」という言葉は、同じ意味合いの羅列であり変更したほうがよい。基本体系の 5 つの目標は抽象的で、基本計画の方向性をイメージできない。基本計画の方向性は 3 つの政策しかなく、地域力の向上がまちづくりに重要と言っておきながらあまりにも少ない。地域防災計画、財政健全化計画、都市計画マスタープラン、子ども・子育て支援事業計画についても基本計画に盛り込まないと整合性がとれない。街再生総合戦略は、人口増に特化した計画ということだが、河合愛 AI ビジョンも人口増を図ることでは同じような計画を作るよりも河合愛 AI 構想の体系に一本化すべきである。	これまで町外の方々から「河合町は、職員のみならず町民の皆さんが優しい」、「河合町の方は、本当に温かい」とよくお聞きしていたことから、河合町といえば、「人に優しい 人情あふれる町 温かい町」とイメージできる町であり続けることが町の魅力アップにつながると考えて基本理念に据えています。基本計画は他にも検討していますが、特に重点的に取り組む 3 つの施策について具体的にご説明しました。河合愛 AI 構想の 3 つの重点施策は人口減少対策とも関連していますので、総合戦略としても位置づけて一体的に取り組めます。各分野の個別計画については基本計画と同列に位置づけし、河合愛 AI 構想に基づく各施策と関連づけられるよう整合性を図ります。
12	漠然としていて言葉遊びと言える。具体的な対策が見えない。	現在、河合愛 AI 構想の肉付け（基本計画、実施計画）作業をしています。再度、御意見をいただく予定です。

13	<p>構想自体に否定はしませんが、公表するまでの流れや、構想に対する全てのデータに対する裏づけの薄さに、構想実現への疑問を感じざるをえません。</p>	<p>令和2年度中には、町民の皆さまに公表し、令和3年度から実行していきます。本構想は、根拠に基づいた政策立案を念頭におきつつ、皆さまからのご意見も取り入れていきます。</p>
14	<p>構想全体には同感できます。しかし、説明資料冒頭の現状分析や将来予測に示される危機的な状況と、構想本体で提示される明るい展望とはまったく整合性が取れていないように思えます。今直ちに、町財政の健全化への道筋をつけないままに、構想だけを決めても、「絵にかいた餅」に終わるのではないかと危惧します。</p>	<p>河合愛 AI 構想は、河合町の豊富な資産を再認識し、更にそれらを活用し新たな資産を形成することで『まちの魅力を向上』させ、その誘引による『人口安定・定住促進』を図ることにより、『健全財政』と、新たな施策の導入という好循環を生み出すことを目的としています。さらに、重点施策については KPI や期限を設け具体化することを重視しています。</p>
15	<p>町政の基本である財政問題に触れず、構想の実現性が不明。140 億円超の危機的財政を明らかにして、その健全化と町作りを提示するべきと思う。今回のミーティング資料は財政の実情を出していない。</p>	<p>今回のタウンミーティングでは、河合愛 AI 構想の全体構成や体系、またそれらに基づいて町が重点的に取り組むべき施策を具体的にご説明しました。広報やホームページ等での公表に加え財政問題テーマを主としてタウンミーティングさせていただく際は財政状況を詳しくお示し致します。</p>
16	<p>方向性はよいが、スケジュールにもっとスピード感を。</p>	<p>おっしゃるとおり、スピード感をもって取り組みます。</p>
17	<p>「夢ビジョン」の焼き直しで新味がない。言葉だけが踊っている。</p>	<p>夢ビジョンでは実現可能性が低い事業でも事業例として掲載してましたので、夢物語と揶揄されることもありました。河合愛 AI 構想では、出来るだけ実現可能性が高い事業を実施計画としてお示しします。様々なご要望等があると思いますが、“出来ることからする”といったことで精査し取り組んでいきます。</p>

【3.ファシリティマネジメントについてのご意見】

番号	意見の概要	町の考え方
1	<p>昨年のTM資料には、「佐味田川駅のバリアフリー化」があげられていましたが、今回の資料には見当たりません。どうなっているのですか。昨年の資料を見て、駅を利用する、とくに高齢の町民は喜びあいました。新しい資料にもより詳しく載せられなければならなかった筈です。</p>	<p>今年度のTMにおきましては「河合愛 AI 構想」における三つの主な基本計画に関する内容であったことから、より詳細な個別事業計画となりますバリアフリー化に関する内容を明記していませんでした。体が不自由な方々や高齢者の方々、また子育て環境などに配慮したまちづくりの形成には駅などのバリアフリー化は欠かせない対策であり、現在、担当課におきまして鉄道事業者と協議を継続しており、一日でも早い対策の実現を目指しています。</p>
2	<p>中心は、旧河合第三小学校の利用についての話ですが。先ず全ての公的施設の見直し、そしてそれぞれの位置付けと利用の方向性を定め、その上で旧第三小学校の活用を考えるべきだと思います。特にファシリティマネジメントとは、その管理の最適化・企画・管理・活用を総合的に考え、費用対効果の適用化を考えることなので、今までにない専用のチームを作り早急に日々検討行動すべきだと思います。そのチームとは、部長・次長等役職は関係なくできれば、若い人を中心に新しくチーム長を立て作るべきだと思います。また、その下に町の声と言う集まりを一般の町民から募集し、その声も聴きながら進める。そうすることによって、町長の言われる「地域力の向上」地域の活性化につながるのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおりファシリティマネジメントにつきましては総合的に企画・管理し、整備・活用により最適化を図ることが定義づけられています。それを進めるため、R2年にファシリティマネジメント推進室を設置しました。現在、旧第三小学校の利活用に関する検討が先行していますが、その他の公共施設の在り方などに関しても並行して今後、検討を行っていきます。また、施設の総合的管理を円滑かつ有効に行うためには、住民の皆さまのご意見をお聞かせいただきながら進めることが重要だと考えています。</p>
3	<p>考え方は同意できますが、まず財政を立直ししないと人は集まらないと考えます。</p>	<p>財政健全化につきましては、現在計画に基づき、取り組んでいるところであり、今後も着実に推進してまいります。なお、公共施設の再編につきましては、公共施設の廃止・統合・運用見直しなどにより、財政健全化につながる施策でもあることをご理解願います。</p>

4	ファシリティと言う意味が難解で理解出来ない。	町が管理する土地・建物などの資産をいかに有効に活用するのか、また運営などにかかる経費をいかに抑えるのかといったことを解決するため最適化を図る取組みであると考えています。
5	まず、言葉からのイメージがつかみにくい。公共サービス水準が低下することについては、まちの魅力低下につながるため、注意が必要だと思う。そこへの移動手段はしっかり確保されますか？	ご指摘のとおり施設環境の整備だけではより良いサービスの提供には繋がらないと考えています。移動支援サービスにつきましても町民の皆さまのご意見をお聞かせいただきながら協議・検討を行っていきます。
6	耐震工事をしていない公民館の使用は非常に危険。早急に第3小への統合使用が求められる。一日も早い実行が必要。一部を民間企業の事務所として貸与することも考えたい。保健センターの機能も移転して、これまでの土地(公民館跡地など)を売却し、マンションを建設することで人口増加につながる。	旧第三小学校への移転の時期につきましては、中央公民館、体育館の状況を考えて一日でも早く実現させる必要があります。ご提案いただきましたその他公共施設につきましても旧第三小学校の利活用と並行して検討を行っていきます。
7	合理的な解決策であると評価する。但し、現中央公民館・体育館跡をどうするのかのロードマップが不明なのは、見過ごせないかと思う。	跡地活用につきましては本町にとって何が最善であるのかを慎重に見極め、保有する資産の最善の活用に関しまして並行して検討してまいりたいと考えています。
8	出来ればすばらしいと思いますが、維持管理が難しいと思います。場所があっても、管理されていない所では使えないと思います。維持管理がきちり出来るならすばらしいと思います。	公共施設の最適化を図った上で、住民の皆さまに長く快適にご利用いただける施設にするため、事後保全ではなく、予防保全の観点から施設の維持管理に努める必要があると考えています。
9	第3小を中央公民館、体育館として使用すること、大変よろしいと思います。防災の場所とするなら王寺町の国の援助のもと作られた泉の広場を参考にしてほしい。私は王寺の施設を使用させていただき、とても良かったです。	親しみのある施設となるよう、先行事例を参考にしたり、また、皆さまのご意見をお聞かせいただきながら施設環境の整備に努めます。
10	史跡と文化財の拠点に第三小学校を活用していただきたい。	保有する歴史文化財などにつきましてはこれまで守り伝えられてきた町の貴重な財産でありますので、現時点の計画においても旧第三小学校を活用することを検討しています。

11	跡地利用のイメージは分かるが、公民館、体育館の跡地利用のイメージをセットで考えるべき。	跡地活用につきましては本町にとって何が最善であるのかを慎重に見極め、保有する資産の最善の活用に関しまして並行して検討してまいりたいと考えています。
12	住民が積極的に参加できる仕組みと推進イベントが必要。	地域の繋がりの希薄化や地域活動の担い手不足など地域社会を取り巻く課題は多様化している状況です。このような中、住みやすい魅力的なまちをつくるためには行政と住民の皆さまが協働により共通の目的達成のため取り組みを行うことが重要であるとと考えています。
13	中央公民館、中央体育館だけでなく、心の交流センターと児童館も含めた複合施設にすべきである。豆山の郷は来年度に福祉施設としての機能が無くなると聞いており、社会福祉協議会についても移転先を検討する必要がある。検討委員会では、もう少し具体的な検討されていると思われるので全て提示してほしい。旧第三小学校については、来年度に設計、再来年には工事ということになると思われるので、ワークショップ形式で町民を交えた検討をしてほしい。	現在、町が管理する土地・建物などの資産の全体として、その資産をいかに有効に活用するのか、また運営などにかかる経費をいかに抑えるのかといったことを解決するため最適化を図る取組みを行っており、ご提案いただきました施設につきましても今後の方針の目安が決まりましたら速やかにお示し致します。また、住民の皆さまのご意見をお聞かせいただく場などの形式は未定ですが、いずれにしても魅力ある施設環境を提供するため住民の皆さまのご意見を頂戴したいと考えています。
14	第3小学校について発想に新鮮味がない。絵本・児童書に特化して育児に関しては県内第一の図書館を作るなど、教育に注力した発送を期待する。	「河合愛 AI 構想」における基本計画として「教育のまち」の推進を掲げているように、旧第三小学校の利活用におきましても教育分野を盛り込むことを検討しており、ご提案いただきました内容も参考にしながら検討していきます。
15	公民館や体育館の老朽化など看過出来ない施設状態なので、3小跡地への移転は理解出来ませぬ。しかし、豆山の郷も問題が山積しているなかで、災害が起こった場合の避難場所(今でも公民館や体育館を避難場所としている訳ではありませんが)の減少に繋がるので、その辺の対応予定策も同時に発表して欲しかったです。	地域の避難場所が減少することへの対応につきましては並行して担当課と協議を行っており、今後とも皆さまに安心して暮らしていただけるよう検討を進め、方針が決まりましたらお示し致します。

16	<p>提案されている内容には賛同します。しかしながら、課題は財源です。限りある財源を最も有効に使用するには、複数のテーマに優先順位をつけ、住民にとって大事なもの、河合町の将来にとって有用なテーマから実現していかなければなりません。ここ数年、経験したことの無いような自然災害が全国各地で起こり、多くの人命が失われ、生活が破壊されていますが、どの自治体にとっても、「住民の生命と生活を守ること」に全力を挙げることが、最も重要な施策になっています。河合町でも当然取り組んでいることと思いますが、残念ながら、(ネット上に公開されていて住民が知りうる限りでは、)河合町の取り組みは、近隣自治体に比べても、著しく立ち遅れているように見えます。幸いにして、私たちには今、第3小学校跡地が利用出来るという絶好の機会があります。これを、「奈良県中西部の中心的な防災施設」として整備すれば、住民の安心安全に直結すると同時に、河合町のプレゼンスを大いに高めることが出来ると思います。(内容によっては、国や県の協力も期待できるのではないのでしょうか?)</p> <p>ぜひ、「平常時は防災情報・教育の発信基地」、非常時には、災害復旧の中心的基地」として整備し、「防災のことなら河合町に行って学ぼう」と言われるようなファシリティマネジメントとしていただくようお願いします。</p>	<p>現時点ではまず公民館機能などの移転と並行して地域の防災拠点とすることに重点をおき検討を行っています。町では財政健全化を図る取り組みと併せて住民の皆さまに安心して暮らしていただける環境整備が優先施策であると考えており、防災対策だけではなく今後起こりうる様々な災害への応急対策が重要と考えています。その中で施設の付加価値の向上に繋がるような環境になることが望ましく、今回いただきました貴重なご提案などを参考にしながら検討を進めていきます。</p>
17	<p>三小施設の利用だけが提示され、規模が小さい。三小に集約した場合、その交通の便(駐車スペース、近辺道路環境)の検討が不足と思える。</p>	<p>旧第三小学校の利活用につきましては、複合施設にすることに加え防災拠点とする計画としていることなどから相当な駐車スペースの確保が必要と考えています。また移動支援サービスの必要性や近隣環境などへの配慮につきましても住民の皆さまのご意見をお聞かせいただきながら検討を進めていきます。</p>
18	<p>第三小学校の活用について、具体的な提案を急いでもらいたい。</p>	<p>今後、速やかに素案をまとめてお示します。</p>

【4.子育て環境についてのご意見】

番号	意見の概要	町の考え方
1	町在住の健康で成績優秀な子供には、町として大々的に、「奨学金」を支給することです。河合町のPRにもなり、本人はもちろん、町民の定住や町への貢献にも期待できる筈です。	奨学金につきましては、適宜、必要と思われる見直しを図っています。今回のご意見等も参考にしつつ課題や効果的な事業について検討していきます。
2	それぞれの施策について、今日初めて知ったものが多い。広報紙やHP以外で、リアルタイムに発信した方がよいと思う。また、町外の人々への広報戦略も併せて必要である。	今後、ご意見等も参考としながら、まずは実施している取組内容等を広く広報やHPを通じて案内するとともに、SNSなどを積極的に活用しリアルタイムの情報発信に努めます。
3	絶対的な視点からは、改善が進んだと評価出来ると思う。但し、奈良市との比較においては、まだ不十分であると実感している。	今回のご意見も参考にしながら限られた予算の中で引き続き利用しやすいサービスの提供を検討して参ります。
4	防災とデジタル化は表裏一体です。ドローンを防災用で活用することです。体育館を活用してドローンの研究施設として活用する案はどうか。(子供のファンも多い)	ドローン活用は様々な可能性を秘めていると考えております。町にとってどのような活用が適しているのか検討していきます。
5	予算かかるが、未来投資としてみたらどうでしょうか。	ご意見として承ります。
6	子育てへの町からの支援と認定こども園の一層の充実が必要。	認定こども園における子育て支援事業を町内に広げ、地域の子どもや保護者に対する質の高い子育て支援を広げて行きたいと考えています。
7	子ども・子育て支援事業計画を中心に計画すれば整合性が図れる。	子ども・子育て支援事業計画と整合を図りながら進めていきます。

8	<p>国の施策を超えた、移住したいと思える河合町ならではの育児支援発想が必要である。(明石市を参考にされたし)</p>	<p>河合町でも出生時に子育て支援サポートとしておむつやエコバッグなどの新生児用品を「子育て世代包括支援センター」のスタッフが家庭訪問して様子を見させて頂く事業や地域の民生児童委員さんが、見守り活動を行う事業など育児支援に対して新しい事業を実施しています。一つの部署で対策できるというのではなく各々の部署が各々の施策を実施していくことで全体の少子化対策育児支援につながっていくと考えていますので、引き続き現行施策を継続するとともに、新規企画も検討していきます。</p>
9	<p>第2子以降の教育費用へ具体的な援助策を示さないと若者は来ない。(他町に具体例多数あり)</p>	<p>他団体の具体例を参考に検討していきます。</p>

【5.教育についてのご意見】

番号	意見の概要	町の考え方
1	今の時代教育とは、生まれた時から始まっていると言われていてます。町として子供の教育に関与していくのは、生れた時から義務教育が終わるまでだと思ひます。その為、こども園から中学校卒業までを一つと考へ、指導方針を立てて頂きたい。実際、大阪など人口の多いところ、若い人が集まるところは、良い保育園、幼稚園、こども園のあるところだす。特にイングリッシュプログラム、これは子供の生活の一環と思えるぐらいの計画を立ててやるべきだと思ひます。	英語教育につきましては、令和2年度より小学5・6年生で外国語(英語)が教科化されました。 小中連携のみならず、幼・小・中の連携も視野に入れながらこども園から中学校卒業まで、英語を学ぶ機会を多く取り入れていきます。中学校で指導しているALT(外国人先生)も、コロナ禍の影響で計画どおり進んでいませんが、今後、こども園や小学校でも参加できるよう進めていく予定です。
2	語学教育は、トリリンガル(3言語)。	将来的に多言語を習得できるように目指します。
3	もっと、大学等との連携を進めてみてはどうか。連携はボランティアという名の無償労働になりやすいため、有償ボランティアなど、まちと大学がwin-winの関係になるよう戦略的に行う必要もある。	各学校の教育支援員として、数名の学生に授業の合間の空き時間を利用して週1・2回程度有償で学校にきていただいています。大学校等の授業の一環として無償で来てもらっている場合もございますが、まちと大学がお互いに協力できる関係を継続できるような体制を確立していきます。
4	1学級30人以下に。	先生の確保ができた上で実現する必要があると思ひます。国や県にしっかり要望していきます。
5	GIGAスクール構想をどれだけ実現出来るのか正直なところ不安。一斉教育からのコンバージョンを図って頂きたい。	GIGAスクール構想の実現にむけて、国の補助金を受けながら、各学校の校内LANの整備、ひとり1台のタブレット購入を令和2年度中に実施します。先生の指導の下、タブレットを活用した楽しい魅力あるICT教育を進めていきます。
6	史跡と文化財の拠点にすべきだす。	河合町には多くの文化財があり、これらを活用して、郷土愛の育成や町の魅力アップにつなげていきます。
7	予算かかるが、未来投資としてみたらどうでしょうか。	ご意見として承ります。

8	キーワードではオリジナリティをあげているが、どこでもやっている内容である。子育て、生涯学習や歴史文化の項目が混在している。	地域の特色を活かし、さまざまな要素を連携させた教育の町をめざします。
9	西大和学園ばかり頼るのではなく、教育畑出身の町長らしい具体策が必要。	「教育のまちづくり」が重点施策のひとつの柱ですので、「河合町教育大綱」に基づき、実施してまいります。
10	2小学校・1中学校の提言が出た後、実際にどう運用するのか、保護者にとって把握出来ている家庭は少ないと思います。3小跡地を売却せずに残すことで、将来合併された中学校が来るのではと感じる方が多いのではと思いました。ですので、今後の教育環境の予定をはっきりと明言していただきたいです。また、今回の資料に載っていた小中での連携(行事の共同化やPTAの一本化等)については、現場に情報が降りていない中、掲載される事にとっても違和感を覚えます。特にPTAに関しては、昨年度に3小の閉校に伴う改革を行ったばかりです。今年度以降に1小中・2小中それぞれにおいてどのような繋がりを持つか検討しようとしながら、今年度のコロナ禍の中頓挫しているところです。そのような状態の中、どこにも根回し等もなくこの資料によって項目だけが独り歩きする危機を感じます。	「河合町学校再編方針」を定め、小学校の統合については、旧三小の各学年が単学級となるタイミングで統合いたしました。中学校も同様となります。 タウンミーティング資料の小中連携項目に「PTAの一本化」等を記載されていますが、これらは「例」としてあげたものです。 小中連携については、今後、関係機関と連携しながら取り組んでいきます。
11	小中学校教育の質の向上を一層図ってほしい。	学力だけでなく、心の教育を実践し、総合的な人間力の向上を図ります。
12	少数学級の実現を急ぐ。	先生の確保ができた上で実現する必要があると考えます。国や県にしっかり要望していきます。

【6.基本計画や戦略についてのご意見】

番号	意見の概要	町の考え方
1	「構想全体」についての意見の項を参照願います。計画や戦略を急がねばならぬことはよく分かります。止まっておらず、もはや走らなければならない時期と考えます。	コロナ禍でも令和2年度内には河合愛AI構想の公表、令和3年度から実行していきます。
2	職員+住民参画で(企業の経験生かす)。	住民の皆さまとの連携は非常に重要だと考えており、今後、様々な形での交流を検討していきます。
3	計画のフレームとして、内容的にはおおまかなものになっているが、具体的なスキームが各々あるのだと考えます。私は、各々のスキームに関心があり、それらについても、情報提供があるとよいです。	今回ご説明した3つの重点施策を中心に取り組んでいき、町の魅力をアップさせていきます。具体的なスキームが固まり次第、町が持つ情報発信ツール(例えば、町のSNS)を使って、町民の皆さまに知っていただく機会を拡げていきます。
4	1.防災拠点の予算 2.まちづくりの予算 上記2点を県・国に上げる予算の取得要領に。	国や県の補助金、交付金を積極的に活用していきます。
5	役所の効率化ができることは、数値化して達成率を周知すれば分かりやすいと思う。	ご指摘のとおりだと考えています。街再生総合戦略や河合愛AI構想の一部などでは、KPI(重要課題指標)という数値目標を設けて事業に取り組んでいます。今後とも可能な限り数値目標を設定していきます。
6	河合愛AI構想という総合的な名称になっているが、内容は3項目だけである。それであれば、ワークショップ等で意見をまとめれば良い。今回の資料については、基本計画の一部を示しただけであり中途半端な内容である。したがって、一から見直す必要がある。計画の作成、検討には、まちづくりの主体である町民の参加が必要である。過去の計画例をみると、内部でPDCAを回しているため前(上)に進まず、同じ所を回っている場合がほとんど。河合愛AIビジョンを推進するためには、協働型のまちづくりが最も重要です。ビジョンでまちづくりの将来像を示すと共に、その進め方のルールや仕組みを明らかにすることで車の車輪が動き出し、目指すまちづくりに近づく	町民の参加、協働のまちづくりを目指していきます。

	<p>ことができると思います。まちづくり基本条例制定に向けた検討が始まっていると思いますが、スタートから2年位はかかることを考えれば来年度予算に盛り込む必要があります。町政50周年にふさわしい取り組みをお願いします。</p>	
7	<p>育児・教育の充実を具体的に打ち出すことで、若い家族の移住が望める。金が無いという理由だけで逃げてはいけない。</p>	<p>若い家族が移住してくれる、そんな魅力ある町にするための第一弾として、子育て・教育に軸足を置いた重点施策を展開します。</p>
8	<p>基本計画と言いますが、町役場全ての部署及び関係箇所がこの計画を把握し、それに向けた意思疎通は計られているのでしょうか。まずは、検討した計画及び戦略に基づき全職員(教職員を含めて)が一致団結してからこのようなタウンミーティングを開催していただきたいです。</p>	<p>河合愛 AI 構想担当職員を各課から選任し、各課の基本計画、実施計画の調整、河合愛 AI 構想の普及といった役割を担っています。今後も、計画の進捗・改訂などを通じて職員への浸透を図るとともに、計画の実効性を高めたいと考えています。</p>
9	<p>河合町が現在厳しい状況に陥っていることは、役場の皆様は十分にご承知のことと思いますし、すべての住民も、「うすうすは」感じています。にもかかわらず、町当局からは、そのような情報が発信されず、むしろ「まだ大丈夫だ」というニュアンスの実情に反する情報しか発信されないのは、一町民として不思議でなりません。今、必要とされることは、町幹部も住民も、いやなことから目を背けたり、当面の痛みから逃避することなく、真正面から事実と向き合うことだと思います。それを今やらなければ、いずれ「消滅自治体」の道への道を辿るであろうということは、配布資料冒頭の内容がはっきり示しています。本構想に欠けているのは、このような厳しい視点だと考えます。</p>	<p>少子高齢化、財政状況など様々な問題を抱えていることは事実です。決して目を背けてはいけません。しかし、それに拘束されているだけでもダメだと考えています。その打破のためには夢や希望をもち、それを語り、実現するために町民の皆さまと行政が協働でまちづくりをしていくことと考えています。河合町といえば“人に優しい 人情あふれる町 温かい町”とイメージできる町であり続けることが、歴史文化が輝く河合町という“まほろば”を次世代につなぐことができるという信念から基本理念にも据えています。</p>
10	<p>財政は支出を絞るだけでなく、収入増加も図るべき。町に名品、名産物、名店がない。これらの創設・育成の視点が見えない。なお大規模店誘致ではない。</p>	<p>商工会やふるさと納税業務を委託している「さとふる」などと連携し、町の魅力や、名品・名産品・名店などをブランディングしていきたいと考えます。</p>
11	<p>「実施計画」特に前半3年に何を実行するかは、早急に発表されるべし。</p>	<p>令和2年度内に「実施計画」を公表できるよう進めています。</p>

【7.自由意見】

番号	意見の概要	町の考え方
1	<p>そもそもこれらの事業を策定するためには、まずもって財政の立て直しがあつてこそその話で、財政に不安があれば、よい案も着手すら無理であろうと存じます。財政については他の自治体もいろいろと画策していることは、9月議会の一般質問で常盤議員の上牧町の実例の発表があつた通りです。これについては、とくに他の財政的に当町よりすぐれた自治体の実例の研究と、そのマネも厭わないことが必要です。また議員さんにも、選挙時に財政再建を公約などでお示しの方も多く、いろいろよいお考えがあろうと存じますので、議員さんたちに案の提出を求めたり、シルバーの経験豊富なベテランの町民の方々による審議会を有料でも立ち上げて、これに諮問されたいかがでしょうか。これについては、すでに昨年来、「町長へのメッセージ」で申し上げてきたことです。一日も早い財政再建と構想の「事業計画の策定」を願っているものです。</p>	<p>これまでいただいた町民の皆さまや、有識者のご意見、さらに先進事例で河合町でも取り入れられる事業を精査し実施計画を作成していきます。今後も様々な手法、機会を利用して町民の皆さまの夢、希望の実現に向け取り組んでいきたいと考えます。</p>
2	<p>意見は重要だが、特定の人演説になるので、しっかりマネジメントしてほしい。意見が言えないなら参加の意味がないし、特定の人意見しかくみとれないと思う。会場が寒すぎでした。</p>	<p>「発言しやすい環境を!」ということで、今回はテーマ毎に御意見をいただきました。今後も、工夫を重ね対応して参りたいと考えます。コロナ禍で換気重視としたことから室内温度が低かったと考えます。今後、何らかの対応を検討していきます。</p>
3	<p>旧庁舎の整備と活用を考えるべき。 駅から馬見丘陵公園への休憩所(カフェなど。町の特産物販売所)に。</p>	<p>ファシリティマネジメントとして検討していきます。</p>
4	<p>GoogleMeet/Zoom/MicrosoftTeams等を使って、オンライン+オフラインでのタウンミーティングを開催して頂きたい。</p>	<p>今後、検討していきます。</p>

5	<p>コロナの中で、避難所は多く必要になります。まほろばホール、豆山の郷など避難所として活用出来るようにしていただきたい。月曜が休館などと言ってる場合ではないと思います。防災士を集めて活用していただきたい。防災士を組織化して避難所開設してほしい。</p>	<p>まほろばホール、豆山の郷は指定避難所として指定しております。災害時には必要に応じて休館日でも開放いたします。防災士の組織化については検討しているところです。</p>
6	<p>子供を中心の施策は当然ですが、目下のところ高齢者が中心の町です。エレベーターのない公民館で困っております。健康年齢を伸ばすには趣味で外出することが必要です。使いやすい施設として豆山、まほろば等 20 年先の規定で運営しておられます。運用法を時代に合うように変更すべきである。</p>	<p>中央公民館機能を第三小学校へ移す計画をしております。その際、懸案であったバリアフリー化は解決すべき問題であると認識しております。</p>
7	<p>防災と教育を並行的に検討して頂き三小を拠点として頂きたい。</p>	<p>旧第三小学校の利活用におきましては、防災拠点に位置づけする計画としており、また「河合愛 AI 構想」における基本計画として「教育のまち」の推進を掲げているように、旧第三小学校の利活用におきましても教育分野を盛り込むことを検討しております。</p>
8	<p>財政状況(5 ページ)を克服する計画策定を今後、予定してほしい。</p>	<p>主として財政健全化に基づき取り組んできました。今後も改訂を繰り返し継続して取り組みます。</p>
9	<p>王寺町の総合計画概要版を参考にしたイメージ(別紙)を参照してください。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
10	<p>「まちづくり基本条例」が6月議会で採択されて3ヶ月を経過したが、制定に向けたタイムスケジュールなど、取り組みへの具体策に言及されていないのは何故か。</p>	<p>まちづくり基本条例につきましては、現在、作業を進めております。具体的内容やスケジュールが公表できる段階になれば順次対応致します。</p>

11	<p>今回のタウンミーティング参加者の構成が判りませんので、毎回のタウンミーティングや説明会での参加者と同じ年齢構成であるという前提条件で申し上げます。前回のタウンミーティングでも発言しましたが、教育や子育てなどについての大事な項目が多い中、こども園や小中学校に関わっている家庭向けのタウンミーティングは重要ではないでしょうか。是非、早急に小中学校の連携問題及び教育環境に関する計画を中心議題として小中学校を会場に開催していただきたいです。</p>	<p>今年度は、小さな単位でのタウンミーティングを考えておりましたが、コロナ禍で断念せざるを得ませんでした。しかし、今後コロナ感染症の状況をみながら、可能な限り多くの皆さまの御意見をお聞かせいただく機会を設けたいと考えておりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>
12	<p>最近、役場にたびたび電話でお尋ねをしていますが、最初に電話をとってくれる女性職員の対応には、いつも感動を覚えます。(私は、長くホテルで仕事をしてきたのですが、)一流ホテルの電話対応にも劣らないレベルだと思います。「たかが電話」と考えるのは間違いです。彼女は、河合町役場のイメージアップに大きな貢献をしていると思います。</p>	<p>心温まる御意見をいただき、本当にうれしく思います。 「たかが電話」ではなく“住民の皆さまと職員を繋ぐファーストコンタクト”であることを常に意識し、これからも心のこもった住民サービスを心がけて参りたいと思います。</p>
13	<p>上記の名産物として、耕作放棄地の高度利用を提案する。土地にあった野菜類、果樹などの積極栽培を県農産試験場や県内の大学等と連携して構築する。例として平群町が近大農学部と連携しイチゴの名品を開発と聞く。名産物があれば、名食品、名店ができ、町の活性化があるだろう。このような行動を期待する。</p>	<p>貴重なご提案ありがとうございます。 河合町には、ブドウ、イチゴ、各種スイーツなど名産品があります。特に、紅白イチゴやブランデーケーキは好評です。それらをうまく活用し、名産品・名産物を新しく開発することで河合町のブランド力も向上すると考えております。</p>

<p>14</p>	<p>「河合愛 AI ビジョン」を拝見して感じたことを述べます。ビジョンを語る、夢を語る・・・新しい取り組みの最初のステップはそこから始まります。本件に関与している方々の頭の中も徐々に統合されつつあるようで期待しています。旧三小の転活用案が目玉として出てきましたが、提示案を見ているとファシリティマネジメントの「ファシリティ」の部分は強く感じますが、「マネジメント」の面の色合いが弱いように感じます。ファシリティマネジメントの要諦は有効な費用対効果の管理にあります。旧三小のご提案の内容を見ていると「住民サービス」を含む消費活動の場が前面に出すぎているように感じます。生産的な(稼ぐ)機能が「貸し部屋ゾーン」という表現だけではインパクトが感じられません。やはり費用を投下する以上、その施設に稼ぐ機能をもっと意識して組み入れるべきだと思います。コロナ禍でようやくテレワークに本格的に火がつき始めていますが、テレワークが可能な ICT 環境を整えたサテライトオフィスあるいは、グラウンドを有効活用して疑似ワーケーションができるような施設を具体的に検討させてみてはいかがでしょうか。やはり 5G のローカル基地を誘致するくらいの発想で調査・研究してもよいのでは・・・。テレワーク施設関連では、国あるいは県の補助金制度が活用できそうなものもあるようにも感じています。それに間に合うスピード感で企画を進めることができればよいのですが・・・。子どもの ICT 教育に関する資料が文科省の HP 転載は寂しいですね。河合町の ICT 教育に関する想いはその程度でしょうか・・・。「持続可能なまちづくり」のサイクルを見て、関連施策に係る思いつきメモを添付しておきます。</p> <p>先般広報紙で老朽化した公営住宅の問題を見て、ふと思いつくままにメモにしたためたものですが、実現可能性を判断するために時間がある時に構想をまとめてみようかと思っておりましたが、参</p>	<p>ファシリティマネジメント関連と致しまして、旧第三小学校の利活用における費用対効果の面において利益を上げる生産的な提案に乏しいとのご指摘ではありますが、町の財政状況を考えますと、これまでの取り組みに加え、より一層の改革の推進が迫られていることから収入の確保に向けた具体的な施策につきましても現在、財政健全化の取り組みにおいて検討を行っているところでございます。その取り組みの一環として旧第三小学校の利活用において公共施設の最適化によるコスト縮減などを図ることを目的としている一方、住民の皆さまのご意見・ニーズを十分に反映するため公共サービスの質の向上を提供することも当然の責務となります。そのような状況下ではありますが、町財政にとって有益となる取り組みは今後の健全な施設運営におきましても重要なことであるのでご提案いただきました内容を参考に検討を行ってまいりたいと考えます。</p>
-----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>考情報としてトスアップしておきます。「テレワーク対応型賃貸戸建て住宅」事業について(思い付きメモ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 民間デベまたは建設会社と宿泊施設運営会社と町で協力体制を作る。 ○ ニュータウン内の空き家をプロットして、民間デベで買取あるいは定期賃貸借契約でまとめる。 ○ テレワーク対応の戸建て住宅群を、政府補助金を取得できる形で民間デベまたは建設会社が建設する。 ○ 敷地形状を見ながら、せいぜい2~3パターンの同一設計(仕様)とする。 ○ 短期ステイ型(ウィークリー、民泊)と、長期居住型の賃料設定で運営する。 ○ 賃貸住宅の運営管理は宿泊業者に委託する。 ○ 老朽化した公営住宅の入居者は優先的に移住させる(現行家賃との差額は町が部分補助)こととし、現公営住宅は解体撤去、跡地活用。 	
15	町長のリーダーシップを感じない。トップにけん引する力がなければ何事も進まない。	ご意見として承ります。